

研究班番号【53】  
高校生の恋愛観に関する一考察

保健班:齋藤 まりあ、中島 里菜、図師 幸佳、西本 真穂

### Abstract

The purpose of this study was to clarify high school students' views on love. A questionnaire administered to 173 high school students in Kozu High School revealed that the majority had either confessed to a love interest or had done so, and that a simple, straightforward verbal confession given at night on the way home was an effective means of confession. In terms of the conditions they were looking for in a partner, men tended to focus on appearance, while women tended to focus on the inside of the person. Therefore, this study concluded that confession in a simple and calm environment is a good idea.

### 要約

本研究の目的は高校生の恋愛観を明らかにすることである。高津高校生173人に行ったアンケートによって過半数の人が告白されたこと、したことがあり告白のシチュエーションは夜に帰り道等の道でシンプルかつストレートな言葉での告白が有効的な手段だということがわかった。また、相手にお求める条件では男性は外見、女性は内面に重きをおく傾向があった。したがって本研究ではシンプルで落ち着いた環境での告白が良いということが結論付けられた。

### 1. はじめに

多くの高校生にとって関心事の一つとして恋愛がある。恋愛とは性的に魅力を感じる対象に対する肯定的な感情を指し、この感情を主な基盤として成立している対人関係を恋愛関係という。また恋愛とは告白がつきものだ。告白は恋愛関係を開始する上で重要なきっかけとなる。我々は告白の成功の法則について調べた。

### 2. 研究手法

高津高校生76期173人を対象に計7項目に分けて自身の恋愛観に対するアンケートを実施した。

<アンケート内容>

- ①告白したことはあるか
- ②告白されたことはあるか
- ③告白したい、されたい場所
- ④告白したい、されたい時間帯
- ⑤告白の際にキュンとする言葉
- ⑥相手との年の差
- ⑦相手に求める条件

### 3. 結果

<アンケート結果>

①全体の60%と過半数を占めていた。割合は男子のほうが多かった。

②全体の67%と過半数を占めていた。

割合は女子が75%と圧倒的に女子のほうが多かった。

③遊園地などの特別な場所ではなく道、学校、公園などの普段と変わらない場所が多く見られた

④過半数が夜(19時~21時)だった。

少数派だが、lineなどのsnsでの告白方法も見られた。

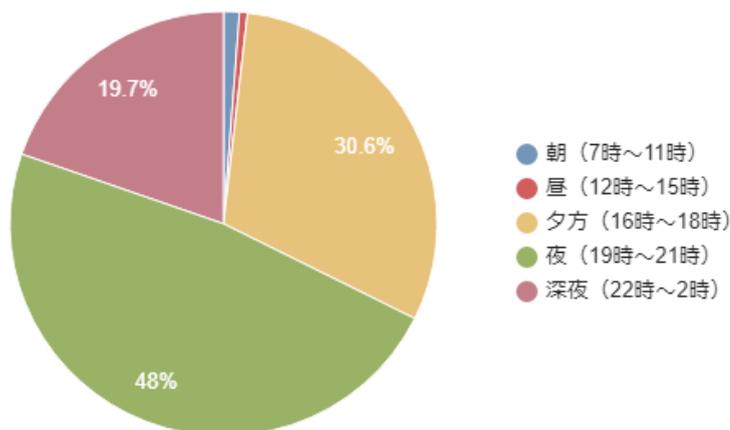
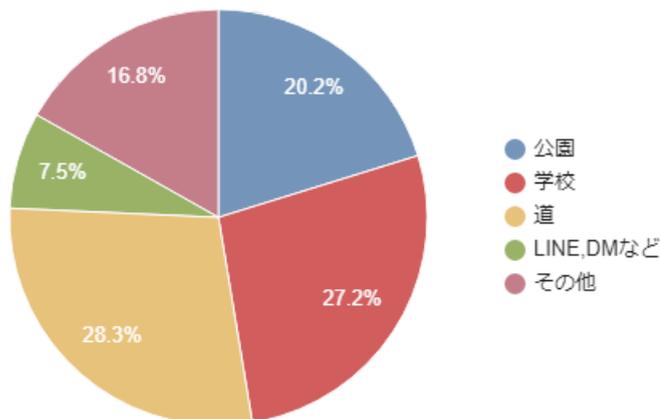
⑤「好きです。付き合ってください。」シンプルかつストレートに相手に伝わる言葉が多く見られた。

⑥同い年が過半数を占めていた。

⑦女子:常識がある人

男子:見た目、優しさが一番多い回答だった。

また、価値観や一緒にいて楽しい等の回答もあり、求めている条件は人それぞれの考えがあった。



#### 4. 考察、結論

場所の考察としては、帰り道は二人で並んで歩いているために、お互いの気持ちがほぐれている。そのため、流れを掴めば、スムーズな流れで告白することができると思った。次に、時間の考察としては、夜は暗闇効果とリラックス効果があると考えた。暗闇効果とは、暗闇が持つ不安感や秘匿性、一体感を感じやすいことに影響を受け、他人との関係が急速に親密なものになりやすくなる効果のことである。そして、夜は副交感神経が優位(リラックス状態)になる。この状態の方が相手を受け入れやすくなる。そして、言葉の考察としては、単純型の告白は、理屈型やアピール型と比べて、余計なことを言わないシンプルでストレートな告白方法であるため、真実味があり、相手に自分の好意が最も伝わりやすいと考えた。

#### 5. 参考文献ならびに参考Webページ

「恋愛における告白の成功・失敗の規定因」(小島他、2020)

